

平成23年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 「新春かるた教室」

- 1. ねらい 日本古来の伝統文化的遊技のひとつである百人一首（かるた）の歴史や競技を学び、あわせて新春の中で参加者相互の交流を図る。
- 2. 実施日 平成24年1月5日（木）
- 3. 活動場所 国立大洲青少年交流の家

- 4. 参加対象・参加者数
 【参加対象】百人一首（かるた）を親しむ方（幼児～高齢者）
 【参加者数】64名（小学生以下26名、中学生以上38名）



- 5. 講師 和家 寛治 氏 (社)全日本かるた協会専任読手
 河添 英樹 氏 愛媛県かるた協会会長
 龍山 千恵 氏 愛媛県かるた協会事務局長

6. 日 程

9:45		10:00		12:00		13:00		14:00		15:30		16:00	
受付	開講式	実習① 「かるた競技」 ※初級・中級・上級毎		昼食	講義 「かるたの歴史」		実習② 「かるた競技」 ※初級・中級・上級毎		ま	閉	と	講	解
									め	式			散

7. 活動内容

開講式で所長あいさつ・講師紹介の後、早速、上級者（講師…河添氏）・中級者（講師…龍山氏）・初級者（講師…和家）の3班に分かれて、かるた競技を行った。特に、上級者の部では、講師が上の句の1～2語読み上げると、下の句の取札を取るような神業的な早業で競技が行われた。（午前・午後の2回実施した。）

また、講義「かるたの歴史」については、初級の参加者と中級以上の参加者の2班に分け実施した。初級者の部は、座学形式ではなく、身体を使ってのゲーム感覚での講義を行い、幼児も楽しく受講できた。閉講式で講師（全日本かるた協会専任読手）の和家氏から、今後も楽しくかるた競技を継続して欲しい、また日本古来の伝統文化の輪を拡げていただきたい旨等の講評をいただき修了した。

